

平成 22・23 年度におけるヤクシカの捕獲数及び捕獲効率について（案）

屋久島におけるヤクシカ対策として、民有林では上屋久猟友会による主として罾猟（くくり罾と箱罾）による捕獲と屋久猟友会による主として銃猟による捕獲が実施されている。

ただし、平成 23 年度からは、屋久猟友会においても罾猟における捕獲が増加しつつある。

また、国有林では森林管理署・森林環境保全センターの職員による罾猟による捕獲が実施されている。表－1 にその概要を示す。

表－1 ヤクシカの有害鳥獣駆除による捕獲効率と推移について

項目		概要
上屋久 猟友会	捕獲の概要	大半が罾猟
	捕獲頭数	平成 22 年度：778 頭 平成 23 年度：1,531 頭
	捕獲効率	平成 22 年度：0.0415（778 頭中 447 頭の罾猟データを基に算定） 平成 23 年度：0.0746（1,531 頭中 998 頭の罾猟データを基に算定）
	傾向と分析	・捕獲効率は平成 22 年度より 23 年度の方が高い。 ・捕獲数の多い地域が必ずしも捕獲効率が高いわけではない。
屋久 猟友会	捕獲の概要	平成 22 年度までは大半が狩猟による捕獲であったが、平成 23 年度からは罾猟による捕獲も増加している。
	捕獲頭数	平成 22 年度：419 頭 平成 23 年度：712 頭
	捕獲効率	平成 22 年度：銃猟 1.0653（419 頭中 408 頭の銃猟データを基に算定） 平成 23 年度：銃猟 1.1850（409 頭中 378 頭の銃猟データを基に算定） ：罾猟 0.1419（303 頭中 267 頭の罾猟データを基に算定）
	傾向と分析	・捕獲効率は平成 22 年度より 23 年度の方が高い。 ・捕獲数の多い地域が必ずしも捕獲効率が高いわけではない。 ・平成 23 年度は罾猟による捕獲個体数が増加している。 ・罾猟の捕獲効率は、上屋久猟友会や森林管理署よりも高い。
森林管理 署・森林 環境保全 センター	捕獲の概要	大半が罾猟
	捕獲頭数	平成 22 年度：501 頭 平成 23 年度：315 頭
	捕獲効率	平成 22 年度：0.0243（501 頭中 493 頭の罾猟データを基に算定） 平成 23 年度：0.0225（315 頭の罾猟データを基に算定）
	傾向と分析	・捕獲効率は平成 23 年度に若干減少したがほぼ同じ傾向。 ・捕獲数の多い地域が必ずしも捕獲効率が高いわけではない。
屋久島全体 の傾向と分析		屋久島での捕獲効率は、銃猟の場合も、罾猟の場合でも全国各地の数値に比較すると高い傾向にあり、特に銃猟の数値の高さが目立つ。

（注 1）捕獲効率は罾猟と銃猟では算定方法が異なるので、両者の単純比較はできない。

【罾猟】捕獲効率＝捕獲頭数／のべ罾数（のべ罾数＝罾数×捕獲日数）

【銃猟】捕獲効率＝捕獲頭数／出猟人工数（捕獲期間内ののべ出猟人工数）

（注 2）平成 23 年度の捕獲頭数については、関係機関の集計値と整合を合わせ、修正を行う可能性がある。

屋久島におけるヤクシカの捕獲数の推移

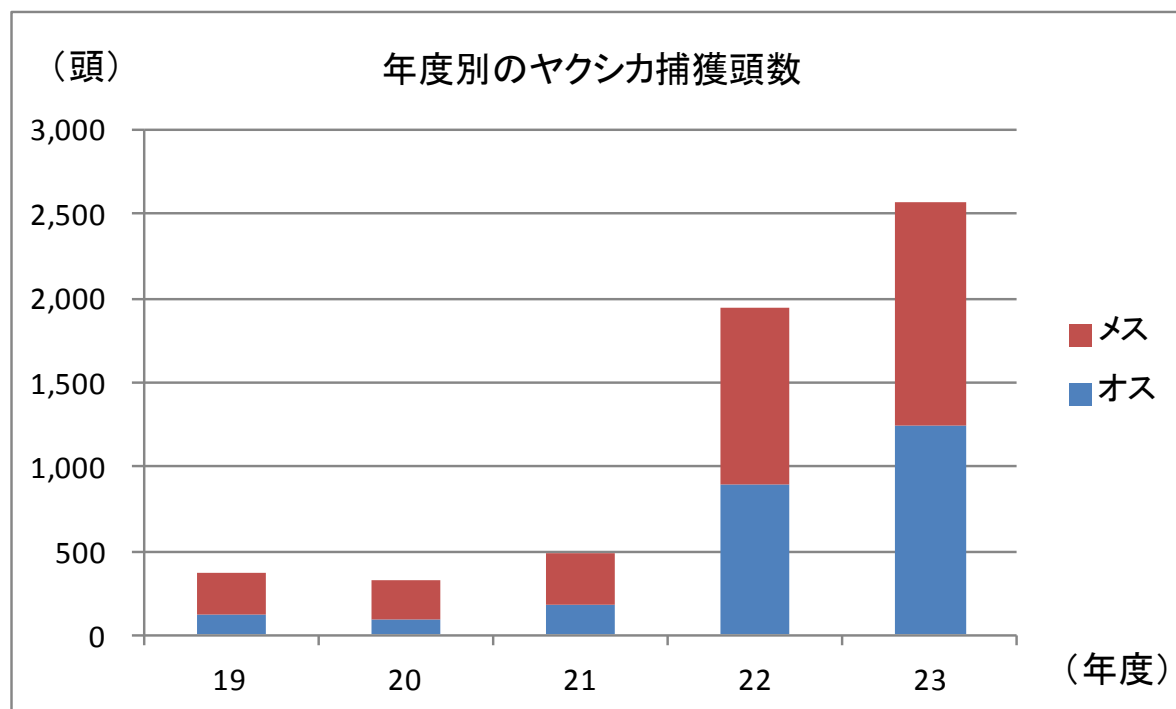
屋久島におけるヤクシカの捕獲数を雌雄別に河川界区分で集計すると表－2 となる。

また、平成 19 年度からの捕獲頭数の経年グラフを図－1 に示す。

表－2 河川界区分によるヤクシカ捕獲頭数等（有害鳥獣駆除＋狩猟）

河川界 区分	ヤクシカ捕獲数（全て遺産区域外）														
	19年度捕獲数（頭）			20年度捕獲数（頭）			21年度捕獲数（頭）			22年度捕獲数（頭）			23年度捕獲数（頭）		
	オス	メス	計	オス	メス	計	オス	メス	計	オス	メス	計	オス	メス	計
1	32	74	106	19	53	72	57	112	169	263	307	570	375	384	759
2	8	41	49	7	28	35	6	29	35	45	34	79	38	30	68
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	3	5	8	0	3	3	0	4	4	9	4	13	63	55	118
5	19	34	53	14	29	43	48	47	95	99	105	204	134	136	270
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0
7	0	0	0	8	12	20	0	0	0	35	71	106	27	51	78
8	15	40	55	16	27	43	34	46	80	81	151	232	133	185	318
9	40	58	98	33	67	100	36	61	97	290	298	588	442	457	899
10	0	0	0	0	3	3	0	0	0	72	82	154	27	26	53
計	117	252	369	97	222	319	181	299	480	895	1,054	1,949	1,239	1,324	2,563

（注 1）ヤクシカ捕獲頭数は有害鳥獣駆除及び狩猟による捕獲頭数。オス・メス区分の際、子供や不明個体はオス・メス割合を半々にして計算。なお、平成 23 年度狩猟データは、今後修正する可能性がある。



図－1 年度別のヤクシカ捕獲頭数（有害鳥獣駆除＋狩猟）

有害鳥獣駆除によるヤクシカの捕獲効率について

(1) 上屋久猟友会の捕獲効率 (22 年度、23 年度)

上屋久猟友会では、その大半がくくり罠や箱罠を用いた罠猟による捕獲となっている。罠猟による捕獲効率は、捕獲頭数をのべ罠数で割って算出した。屋久島町から提出された上屋久猟友会の申請書（有害鳥獣捕獲実績報告書）を基に、河川界別の捕獲頭数及び捕獲効率の整理を行い表-2-1 に示す。捕獲効率の算定資料となった平成 22 年度の捕獲実績等を表-2-2 に、平成 23 年度の捕獲実績等を表-2-3 に示す。

表より、平成 22 年度の捕獲頭数（本集計に用いた捕獲頭数）は、宮之浦で 156 頭、永田で 114 頭、一湊で 46 頭、長峰で 45 頭と多く、吉田で 3 頭、永田（向江）で 8 頭、楠川で 10 頭と少なかった。なお、上屋久猟友会では、平成 22 年度に計 778 頭（口永良部を除く）のヤクシカを捕獲しているが、各種理由（表-2-1 の注書き参照）により、捕獲効率の集計に用いた頭数は 447 頭である。

また、平成 22 年度の捕獲効率は、永田（向江）が 0.1290 と最も高く、続いて志戸子（0.0798）、一湊（0.0687）、小瀬田（0.0613）の順となっており、吉田（0.0061）、永田（0.0275）は比較的に低い。

上屋久猟友会全体での平成 22 年度の捕獲効率は、0.0415 と高い数値となっている。ただし、捕獲頭数の多い宮之浦や永田が必ずしも捕獲効率が高いわけではなかった。これは、捕獲時期や期間が地区によってまちまちであり、また捕獲者の熟練度に差があることなどが原因と思われる。

一方、平成 23 年度の捕獲数、捕獲効率を平成 22 年度と比較すると、平成 23 年度は全ての地区で捕獲頭数、捕獲効率が高くなっている。

志戸子：平成 22 年度（17 頭, 0.0798）平成 23 年度（103 頭, 0.1305）、一湊・吉田：平成 22 年度（49 頭, 0.0423）平成 23 年度（238 頭, 0.0822）、永田：平成 22 年度（114 頭, 0.0275）平成 23 年度（195 頭, 0.0438）で、特に北部の志戸子、一湊・吉田地区の捕獲効率、捕獲頭数が高くなっている。

捕獲効率が高くなっている地域については、罠捕獲の熟練度が増したか、或いはヤクシカの減少が生じていないか、捕獲後密度が少なくなった地域に他の地域からヤクシカが流入してきた可能性等が考えられる。この傾向は、後述（2）の屋久猟友会の銃猟による捕獲効率の年変動についても言える。

なお、民有地における罠捕獲は、基本的には屋久島町から罠の貸出しを受け実施している。ただし、個人的に罠を保有し捕獲を実施している狩猟者もいて、そのような個人所有の罠数が明確に計上されていない。今年度罠捕獲において捕獲効率が高くなっていることについても、個人所有の罠数が昨年度と比較して増加し、罠数にカウントされていない罠が増加したことによる可能性もあり、罠数が明確になっている国有林における捕獲効率より数値が高くなる可能性がある。

さらに、捕獲効率が下がっている北東部の楠川においても、個人所有の罠の設置個数が減少している可能性もあり、捕獲効率が下がっていることがそのまま個体数の減少を示すものではない。

このように、民有林においては、罠の種類、設置期間、個数などが明確になっておらず、正確なモニタリングを進める上での課題となっている。

なお、ここに示したデータは、屋久及び上屋久猟友会の有害鳥獣駆除における申請書（有害鳥獣捕獲実績報告書）を基に 1 枚 1 枚整理し集計したものであり、有害鳥獣駆除以外の狩猟による捕獲数は加味していない。

表-2-1 平成 22～23 年度の上屋久猟友会における罾猟の捕獲効率（河川界区分別）

年度	河川界区分	地区	罾猟期間	罾数 (個)	捕獲 頭数	のべ 罾数 (個日)	捕獲 効率	管理計画 メッシュ	
平成 22 年度	1	楠川	平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月	4	10	180	0.0556	432	北東 部
		長峰	平成 22 年 6 月～平成 23 年 3 月	1	45	946	0.0476	433	
		小瀬田	平成 22 年 12 月～平成 23 年 1 月	9	19	310	0.0613	433	
		榑川	平成 22 年 12 月～平成 23 年 3 月	4	29	610	0.0475	432	
	8	永田	平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	13	114	4,148	0.0275	429	西部
	9	永田(向江)	平成 22 年 12 月～平成 23 年 1 月	1	8	62	0.129	430	北部
		一湊	平成 22 年 7 月～平成 23 年 3 月	4	46	670	0.0687	426	
		吉田	平成 22 年 12 月～平成 23 年 3 月	6	3	488	0.0061	426	
		志戸子	平成 22 年 9 月～平成 23 年 3 月	5	17	213	0.0798	427	
		宮之浦	平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	7	156	3,142	0.0496	428	北東部
	計			54	447	10,769	0.0415	—	
平成 23 年度	1	楠川	平成 23 年 12 月～平成 24 年 1 月	4	53	155	0.3419	432	北東 部
		長峰・小瀬田・榑川	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	16	206	2,230	0.0924	433	
	8	永田	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	19	195	4,449	0.0438	429	西部
	9	一湊・吉田	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	12	238	2,895	0.0822	426	北部
		志戸子	平成 23 年 6 月～11 月、平成 24 年 2 月～3 月	5	103	789	0.1305	427	
		宮之浦・楠川	平成 23 年 4 月～平成 24 年 1 月	12	203	2,867	0.0708	428	北東部
	計			68	998	13,385	0.0746	—	

（注 1） のべ罾数は捕獲日数に罾数を掛けた値。捕獲効率は、捕獲頭数をのべ罾数で割った値である。

（注 2） 上屋久猟友会では、猟銃を用いた狩猟が盛んではなく、データが少ないので、本捕獲効率の整理表には含めていない。

（注 3） また、集計の基になった申請書の記載内容に不備があり、集計に使用できないものは除いている。

（注 4） 上屋久猟友会では、平成 22 年度に計 778 頭（口永良部を除く）のヤクシカを捕獲しているが、上記（注 2）、（注 3）の理由により、捕獲効率を計算した頭数は 447 頭である。平成 23 年度も同様の理由により 1,531 頭を捕獲したが、捕獲効率を計算した頭数は 998 頭である。

表 2-2 平成 22 年度の上屋久猟友会における罾猟捕獲実績等

メッシュ	地区名	設置者	捕獲期間	捕獲日数	罾数	捕獲頭数	のべ罾数	捕獲効率	捕獲効率
426	一湊	A	平成22年7月～平成22年8月	62	1	3	62	0.0687	0.0423
	一湊	B	平成22年12月～平成23年3月	122	2	13	244		
	一湊	C	平成22年12月～平成23年3月	122	2	15	244		
	一湊	D	平成23年2月～平成23年3月	60	2	15	120		
	一湊小計			—	7	46	670	0.0061	
	吉田	E(捕獲器)	平成22年12月～平成23年3月	122	4	3	488		
	吉田小計			—	4	3	488		
合計			—	11	49	1,158	—		
427	志戸子	A	平成22年9月～平成23年3月	213	1	17	213	0.0798	0.0798
428	宮之浦	F	平成22年4月～平成23年3月	366	1	96	366	0.0496	0.0500
	宮之浦	G	平成22年4月～平成23年3月	366	2	40	732		
	宮之浦	A	平成22年5月～平成22年11月	214	1	20	214		
	宮之浦	F(捕獲器)	平成22年4月～平成23年3月	366	5	(注6)	1,830		
	宮之浦小計			—	9	156	3,142	0.0556	
	楠川	H	平成22年11月	30	2	6	60		
	楠川	I	平成23年2月～平成23年3月	60	2	4	120		
	楠川小計			—	4	10	180		
合計			—	13	166	3,322	—		
429	永田	E	平成22年4月～平成23年3月	366	2	69	732	0.0275	0.0275
	永田	J	平成22年8月～平成23年3月	244	1	26	244		
	永田	K	平成22年8月～平成22年11月	122	2	19	244		
	永田	E(捕獲器)	平成22年4月～平成23年3月	366	8	(注7)	2,928		
	合計			—	13	114	4,148	—	
430	永田2	J	平成22年12月～23年1月	62	1	8	62	0.1290	0.1290
433	長峰	F	平成22年6月～平成22年12月	214	1	24	214	0.0476	0.0498
	長峰	L	平成22年8月～平成23年3月	244	2	21	488		
	長峰	F(捕獲器)	平成22年8月～平成23年3月	244	1	(注8)	244		
	長峰小計			—	4	45	946		
	小瀬田	M	平成22年12月～平成23年1月	62	2	9	124	0.0613	
	小瀬田	N	平成23年1月	31	2	6	62		
	小瀬田	F(捕獲器)	平成23年1月	62	2	4	124		
	小瀬田小計			—	6	19	310		
	榑川	O	平成22年12月～平成23年3月	122	2	29	244	0.0475	
	榑川	O(捕獲器)	平成22年12月～平成23年3月	122	3	(注9)	366		
	榑川小計			—	5	29	610		
	合計			—	15	93	1,866		

【 捕獲効率算定の前提 】

- (注1) くくり罾は免許取得者1名につき2台が支給されていることから、この数値と捕獲器の設置台数を基に罾数の算出を行なったが、1名の捕獲者が複数の地域にまたがって捕獲を行なっている場合、捕獲期間の長い地域で罾を設置したものと判断した。
- (注2) 捕獲器の捕獲期間は、対象地区のなかで最も長い捕獲期間と同じとした。
- (注3) 捕獲データのうち、捕獲日数が少ない数値については、単発での捕獲が考えられるが設置期間が明確ではないため、捕獲効率のデータから除外した。
- (注4) 環境省の捕獲データについては、別途捕獲効率の検討を行なうことから、上記のデータから除外した。
- (注5) 設置期間については、捕獲のあるデータの月の日数とした。
- (注6) 罾の設置者によっては、捕獲器捕獲頭数とくくり罾捕獲頭数とを合わせて申請する場合が多く、どちらで捕獲されたものかわからない。そのため、428メッシュ宮之浦地区のF (捕獲器) の捕獲頭数は宮之浦地区の上記F欄に含めた。以下、注7～9も同様。
- (注7) 429メッシュ永田地区のE (捕獲器) の捕獲頭数は、永田地区の上記E欄に含む。
- (注8) 433メッシュ長峰地区のF (捕獲器) の捕獲頭数は、長峰地区の上記F欄に含む。
- (注9) 433メッシュ榊川地区のO (捕獲器) の捕獲頭数は、榊川地区の上記O欄に含む。

表-2-3 平成23年度の上屋久猟友会における罾猟捕獲実績

メッシュ名	地区名	設置者	捕獲期間	捕獲日数	罾数	捕獲頭数	のべ罾数	平成23年の捕獲効率	平成22年の捕獲効率
426	一湊吉田	A	平成23年8月～平成24年3月	243	2	45	486	0.0822	0.0423
		B	平成23年4月～平成24年3月	366	1	39	366		
		C	平成23年4月～平成23年7月、11月	152	1	49	152		
		D	平成23年4月～6月、平成24年1月	122	1	3	122		
		E	平成23年4月～5月	61	1	5	61		
		F	平成23年10月～11月、平成24年2月～3月	183	1	94	183		
		G	平成23年10月～平成23年11月	61	1	3	61		
		A(捕獲器)	平成23年4月～平成24年3月	366	4	(注6)	1464		
		計		1554	12	238	2895		
427	志戸子	H	平成23年6月～11月、平成24年2月～3月	243	2	74	486	0.1305	0.0798
		B	平成23年6月～11月	183	1	9	183		
		I	平成24年2月～3月	60	1	11	60		
		J	平成24年2月～3月	60	1	9	60		
		計		546	5	103	789		
428	宮之浦楠川	J	平成23年4月～平成23年11月	306	2	89	612	0.0708	0.0500
		K	平成23年4月～7月、平成24年2月～3月	182	1	95	182		
		L	平成23年8月～9月	61	1	4	61		
		M	平成23年8月、11月	61	1	2	61		
		N	平成23年10月～11月	61	1	2	61		
		O	平成24年2月～3月	60	1	11	60		
		J(捕獲器)	平成23年4月～平成24年3月	366	5	(注7)	1830		
		計		1097	12	203	2867		
429	永田	P	平成23年4月～7月、11月、平成24年1月～3月	244	2	47	488	0.0438	0.0275
		B	平成23年6月～11月、平成24年1月～3月	274	1	87	274		
		G	平成23年4月～7月、平成24年1月～3月	213	2	23	426		
		F	平成23年6月～7月	61	2	7	122		
		Q	平成24年1月	31	1	5	31		
		R	平成24年2月～3月	60	1	12	60		
		S	平成24年2月～3月	60	1	7	60		
		T	平成24年2月～3月	60	1	7	60		
		P(捕獲器)	平成23年4月～平成24年3月	366	8	(注8)	2928		
		計		1369	19	195	4449		
432	楠川	O	平成24年1月～2月	62	1	19	62	0.3419	-
		U	平成24年1月	31	1	28	31		
		L	平成24年1月	31	1	4	31		
		V	平成24年1月	31	1	2	31		
		計		155	4	53	155		
433	長峰小瀬田楠川	K	平成23年10月～平成24年1月	123	1	168	123	0.0924	0.0498
		L	平成23年6月、8月、12月	92	1	8	92		
		W	平成23年6月、12月、平成24年1月	92	2	11	184		
		V	平成23年10月～12月、平成24年3月	123	1	7	123		
		X	平成23年6月、10月	61	2	6	122		
		Y	平成23年12月～平成24年1月	62	1	2	62		
		Z	平成23年12月	31	1	2	31		
		H	平成24年2月	29	1	2	29		
		K(捕獲器)	平成23年4月～11月	244	6	(注9)	1464		
		計		857	16	206	2230		

【捕獲効率算定の前提】

- (注1) くくり罾は免許取得者1名につき2台が支給されていることから、この数値と捕獲器の設置台数を基に罾数の算出を行なったが、1名の捕獲者が複数の地域にまたがって捕獲を行なっている場合、捕獲期間(注2)捕獲器の捕獲期間は、対象地区のなかで最も長い捕獲期間と同じとした。
- (注3) 捕獲データのうち、捕獲日数が少ない数値については、単発での捕獲が考えられるが設置期間が明確ではないため、捕獲効率のデータから除外した。
- (注4) 環境省の捕獲データについては、別途捕獲効率の検討を行なうことから、上記のデータから除外した。
- (注5) 設置期間については、捕獲のあるデータの月の日数とした。
- (注6) 罾の設置者によっては、捕獲器捕獲頭数とくくり罾捕獲頭数とを合わせて申請する場合が多く、どちらで捕獲されたものかわからない。そのため、426メッシュ一湊地区のA(捕獲器)の捕獲頭数は一湊地区の上記A欄に含めた。以下、注7～9も同様。
- (注7) 428メッシュ宮之浦地区のJ(捕獲器)の捕獲頭数は、宮之浦地区の上記J欄に含む。
- (注8) 429メッシュ永田地区のP(捕獲器)の捕獲頭数は、永田地区の上記P欄に含む。
- (注9) 433メッシュ長峰地区のK(捕獲器)の捕獲頭数は、長峰地区の上記K欄に含む。

（２）屋久猟友会の捕獲効率（22 年度、23 年度）

屋久猟友会では、平成 22 年度まではその大半が銃猟を使用した捕獲（集団捕獲）となっていたが、平成 23 年には罟猟による捕獲個体数も増加している。

銃猟による捕獲効率は、捕獲頭数を出動日数で割って算出した。屋久島町から提出された屋久猟友会の申請書（有害鳥獣捕獲実績報告書）を基に、河川界区分別の捕獲頭数及び捕獲効率の整理を行い表-3-1 に示す。捕獲効率の算定資料となった平成 22 年度、平成 23 年度の屋久猟友会における銃猟の捕獲実績等を表-3-2-1～2 に示す。

表より、平成 22 年度の捕獲頭数（本集計に用いた捕獲頭数）は、船行で 241 頭、栗生で 101 頭、湯泊で 45 頭と多く、高平で 4 頭、松峰で 7 頭、平野で 10 頭と少なかった。捕獲個体の半数以上は、船行と栗生で捕獲されたものである。なお、屋久猟友会では、平成 22 年度に計 419 頭のヤクシカを捕獲しているが、各種理由（表-3-1 の注書き参照）により、捕獲効率の集計に用いた頭数は 408 頭である。

また、平成 22 年度の捕獲効率は、船行が 1.4785 と最も高く、続いて平野（1.4286）、高平（1.3333）、松峰（1.0000）の順となっており、湯泊（0.5625）、栗生（0.8211）で比較的低い結果となった。この結果、屋久猟友会の平成 22 年度の銃猟の捕獲効率は 1.0653 となり、他の都道府県で公表されている銃猟の数値と比較しても非常に高い数値となっている。ただし、捕獲頭数の多い栗生や湯泊が必ずしも捕獲効率が高いわけではなかった。これは、捕獲時期や期間が地区によってまちまちであり、また捕獲者の熟練度に差があることなどが原因と思われる。

平成 23 年度の捕獲頭数、捕獲効率と平成 22 年度とを比較すると、捕獲数が平成 22 年度は 408 頭であるのに対して、平成 23 年度は 378 頭となっており、罟猟での捕獲数が増加しているのに対して、銃猟（集団捕獲）での捕獲頭数は減少している。

一方、捕獲効率については平成 22 年度が 1.0653 であるのに対して、平成 23 年度の捕獲効率は 1.1850 と高くなっており、地域別にみても船行を除く全ての地域で捕獲効率が増加している。

捕獲効率の増加については、捕獲の熟練度が増したか、或いはヤクシカの減少が生じていないか、捕獲後密度が少なくなった地域に他の地域からヤクシカが流入してきた可能性が考えられる。さらに、屋久猟友会のように捕獲効率が高い場合には、狩猟者が猟を早めに切り上げているとも聞き、実質的な捕獲能力に基づく捕獲効率は、さらに高い可能性が考えられる。

屋久猟友会の銃猟におけるデータの中で特筆すべき点は、特定地域での捕獲頻度を高めているものの捕獲効率値の減少が認められないことである。特に、船行（438 メッシュ）、栗生（444 メッシュ）、湯泊（450 メッシュ）においては、捕獲年度、捕獲月日が進んでも、捕獲効率の減少が見られない。

これは、ひとつには、これらの地域における捕獲圧が、ヤクシカの生息密度の減少をきたす程のものではない可能性が考えられる。また、もう一点として、捕獲圧をかけヤクシカの生息数が減少した地域に、これらの地域に接する他の隣接地域からヤクシカが移動してきて生息密度の均衡を保っている可能性も否定できない。さらに、狩猟者が、一定の捕獲頭数を求め、広いメッシュ内の各所を効率よく狩猟し続け、結果的に一定値の捕獲効率を保っている可能性もあるので、今後は、その辺の確認及び検討が望まれる。

表-3-1 平成 22～23 年度の屋久猟友会における銃猟の捕獲効率（河川界区分別）

年 度	河川界 区分	地区	銃猟期間	捕獲 頭数	出動 人数 (人日)	捕獲 効率	管理計画 メッシュ	
平 成 22 年 度	1	船行	平成 22 年 4 月 10 日～平成 23 年 3 月 12 日(計 24 日)	241	163	1.4785	438	北東部
		松峯	平成 22 年 12 月 12 日(計 1 日)	7	7	1	443	南東部
	2	高平	平成 22 年 10 月 23 日(計 1 日)	4	3	1.3333	447	
		平野	平成 22 年 5 月 29 日(計 1 日)	10	7	1.4286	448	
	5	栗生	平成 22 年 4 月 17 日～平成 23 年 3 月 20 日(計 16 日)	101	123	0.8211	444	西部
		湯泊	平成 22 年 5 月 22 日～12 月 26 日(計 9 日)	45	80	0.5625	450	南部
	計			408	383	1.0653	—	
平 成 23 年 度	1	船行	平成 23 年 4 月 9 日～平成 24 年 3 月 4 日 (計 18 日)	172	118	1.4576	438	北東部
	2	高平	平成 23 年 4 月 17 日(計 1 日)	15	7	2.1429	447	南東部
	5	栗生	平成 23 年 5 月 8 日～平成 24 年 3 月 24 日(計 11 日)	82	78	1.0513	444	西部
		湯泊	平成 23 年 4 月 16 日～平成 24 年 1 月 22 日(計 12 日)	109	116	0.9397	450	南部
	計			378	319	1.185	—	

（注 1）出動人数は狩猟期間内における延べ出猟人工数を示した。捕獲効率は、捕獲頭数を出動人数で割った値である。

（注 2）屋久猟友会では、平成 22 年度は罟猟捕獲が少ないため、本捕獲効率の整理表には含まれていない。平成 23 年度については罟猟の捕獲効率を表-3-3 に記載した。

（注 3）また、集計の基になった申請書の記載内容に不備があり、集計に使用できないものは除いている。

（注 4）屋久猟友会では、平成 22 年度に計 419 頭のヤクシカを捕獲しているが、上記（注 2）、（注 3）の理由により、捕獲効率を計算した頭数は 408 頭である。

表-3-2-1 平成22年度、平成23年度の屋久猟友会における銃猟の捕獲実績等 (1/2)

地区名	No.	調査年月日		捕獲個体					出動人数	捕獲効率
		年度	月日	雄	雌	子	不明	総捕獲数		
438	1	平成22年度	4月10日	6	4			10	6	1.6667
	2		4月24日	7	4			12	7	1.7143
	3		5月23日	5	4			9	7	1.2857
	4		6月6日	5	4			9	6	1.5000
	5		6月12日	3	3			6	6	1.0000
	6		7月11日				10	10	7	1.4286
	7		7月17日	3	2			5	7	0.7143
	8		8月7日				7	7	6	1.1667
	9		8月21日				11	11	7	1.5714
	10		9月19日				12	12	8	1.5000
	11		9月26日				12	12	6	2.0000
	12		10月17日	6	7			13	7	1.8571
	13		10月31日	7	6			13	7	1.8571
	14		11月14日	7	3			10	8	1.2500
	15		11月28日	5	5			10	7	1.4286
	16		12月11日	2	3			5	7	0.7143
	17		12月26日	4	6			10	7	1.4286
	18		1月16日	7	6			13	8	1.6250
	19		1月23日	2	7			9	6	1.5000
	20		1月30日	7	6			13	7	1.8571
	21		2月6日	6	6			12	6	2.0000
	22		2月20日	7	5			12	7	1.7143
	23		3月5日	5	3			8	6	1.3333
	24		3月12日	5	5			10	7	1.4286
	25	平成23年度	4月9日	8	6			14	6	2.3333
	26		5月8日				7	7	7	1.0000
	27		5月22日	6	3			9	8	1.1250
	28		6月5日	4	5			9	6	1.5000
	29		6月12日	3	3			6	6	1.0000
	30		7月3日				6	6	7	0.8571
	31		7月16日	4	4			8	7	1.1429
	32		8月13日	5	2			7	6	1.1667
	33		8月20日	5	5			10	7	1.4286
	34		9月11日	7	5			12	8	1.5000
	35		10月1日	11	5			16	7	2.2857
	36		11月5日	8	4			12	7	1.7143
	37		11月12日	5	4			9	6	1.5000
	38		12月4日	5	5			10	7	1.4286
	39		12月18日	7	7			14	6	2.3333
	40		1月8日	7	5			12	5	2.4000
	41		2月25日	2	1			3	5	0.6000
	42		3月4日	5	3			8	7	1.1429
438メッシュ計				191	156		65	413	281	1.4698
443	1	平成22年	12月12日	5	2			7	7	1.0000
443メッシュ計				5	2			7	7	1.0000

表-3-2-2 平成22年度、平成23年度の屋久猟友会における銃猟の捕獲実績等 (2/2)

地区名	No.	調査年月日		捕獲個体					出動人数	捕獲効率
		年度	月日	雄	雌	子	不明	総捕獲数		
444	1	平成22年度	4月17日	2	1			3	7	0.4286
	2		4月24日	2				2	9	0.2222
	3		6月19日	2	3			5	10	0.5000
	4		6月20日	1	2			3	6	0.5000
	5		6月26日	2	5			7	6	1.1667
	6		9月11日	3				3	8	0.3750
	7		9月18日	5	5			10	8	1.2500
	8		11月20日	2	3	1		6	7	0.8571
	9		12月4日	4	4			8	8	1.0000
	10		12月5日	6	4			7	10	0.7000
	11		12月19日	2	3			5	5	1.0000
	12		12月25日	3	5			8	6	1.3333
	13		1月15日	4	6			10	9	1.1111
	14		2月12日	3	3			6	7	0.8571
	15		2月20日	6	4			10	8	1.2500
	16		3月20日	4	4			8	9	0.8889
	17	平成23年度	5月8日				7	7	7	1.0000
	18		5月14日	6	3			9	6	1.5000
	19		5月21日	8	4		1	13	7	1.8571
	20		6月18日	2	5			7	9	0.7778
	21		6月25日		2		3	5	6	0.8333
	22		9月4日	4	2			6	7	0.8571
	23		9月18日	7	5			12	8	1.5000
	24		11月19日	5	4			9	6	1.5000
	25		1月28日	3	1		2	6	6	1.0000
	26		3月17日	2	2			4	8	0.5000
	27		3月24日	2	2			4	8	0.5000
444メッシュ計				90	82	1	13	183	201	0.9104
447	1	平成22年度	10月23日	3	1			4	3	1.3333
	2	平成23年度	4月17日				15	15	7	2.1429
447メッシュ計				3	1		15	19	10	1.9000
448	1	平成22年度	5月29日	5	4		1	10	7	1.4286
448メッシュ計				5	4		1	10	7	1.4286
450	1	平成22年度	5月22日	2			2	4	12	0.3333
	2		6月2日	2				2	8	0.2500
	3		7月10日	1		1		2	12	0.1667
	4		8月21日	2	3	2		7	8	0.8750
	5		8月22日		1	1		2	6	0.3333
	6		8月28日	3				3	8	0.3750
	7		12月26日	3	5			8	7	1.1429
	8	平成23年度	1月8日	3	8			11	10	1.1000
	9		1月22日	1	5			6	9	0.6667
	10		4月16日	2	3			5	10	0.5000
	11		4月23日	2	4			6	10	0.6000
	12		8月6日	5	3			8	11	0.7273
	13		8月21日	7	5			12	9	1.3333
	14		10月10日	2	2			4	6	0.6667
	15		10月15日	2	3			5	7	0.7143
	16		11月27日	4	4			8	7	1.1429
	17		12月25日	5	4			9	6	1.5000
	18		1月14日	7	4			11	6	1.8333
	19		1月22日	3	2			5	4	1.2500
	20		2月4日	3	2			5	7	0.7143
	21		2月11日	5	2			7	8	0.8750
	22		2月12日				7	7	6	1.1667
450メッシュ計				64	60	4	9	137	177	0.7740
平成22年度計				176	157	5	55	393	364	1.0797
平成23年度計				182	148	0	48	378	319	1.1850
平成22年度と平成23年度の合計				358	305	5	103	771	683	1.1288

このほか、屋久猟友会では平成 23 年度は罾猟による捕獲個体数が増加している。平成 22 年度は 12 頭であったのに対して、平成 23 年度は 303 頭(捕獲効率:0.1419、全体の 44%)と大幅に捕獲個体数が増加している。屋久猟友会は、これまで主体としてきた集団での銃猟による捕獲から、罾猟も含めた捕獲形態へと変化してきているものと推察される。

捕獲効率においても、上屋久猟友会の平成 23 年度の捕獲効率 0.0746 と比較して 0.1419 と高い数値となっている。屋久猟友会では、罾猟に参加している狩猟者は少ないものの、比較的多くの個体が捕獲されており、効率的な捕獲が行われているものと推察される。

特に、これまで個体密度が比較的低いとされてきた南部の小島・平内(451 メッシュ)では銃猟による捕獲はないものの、1 名の狩猟者によって比較的多くの個体が捕獲されており、南部地域で個体密度が高まっている可能性もあることから、今後の動向を注視していく必要がある。

このほか、屋久猟友会では罾猟を新たにはじめる狩猟者が多く、効率的な捕獲圧の高まりが個体数の減少に寄与する可能性もあり、捕獲に対する十分なモニタリング及び指導を行っていく必要があるものと判断される。

表-3-3 平成 23 年度の屋久猟友会における罾猟の捕獲効率(河川界区分別)

年度	河川界 区分	地区	捕獲期間	罾設 置者	罾数 (個)	捕獲頭 数	のべ罾 数(個 日)	捕獲効 率	管理計画 メッシュ		
平成 23 年度	1	船行	平成 24 年 2 月～ 平成 24 年 3 月		A	2	26	120	0.1667	438	北東 部
			平成 24 年 2 月～ 平成 24 年 3 月		B	2	14	120			
			小計			4	40	240			
		松峰	平成 23 年 6 月～ 平成 23 年 7 月		C	2	3	122	0.1427	443	南東 部
			平成 23 年 6 月～ 平成 24 年 3 月		D	2	107	608			
			平成 23 年 7 月		E	2	3	62			
			小計			6	113	792			
	4	小島・ 平内	平成 23 年 6 月～ 平成 24 年 3 月		G	2	99	608	0.1628	451	南部
			小計			2	99	608			
	5	湯泊	平成 23 年 6～7 月、9 月、11 月		F	2	15	242	0.062	450	
			小計			2	15	242			
計					14	267	1,882	0.1419	－		

【 捕獲効率算定の前提 】

- (注 1) くくり罾は免許取得者 1 名につき 2 台が支給されていることから、この数値と捕獲器の設置台数を基に罾数の算出を行なったが、1 名の捕獲者が複数の地域にまたがって捕獲を行なっている場合、捕獲期間の長い地域で罾を設置したものと判断した。
- (注 2) 捕獲器の捕獲期間は、対象地区のなかで最も長い捕獲期間と同じとした。
- (注 3) 捕獲データのうち、捕獲日数が少ない数値については、単発での捕獲が考えられるが設置期間が明確ではないため、捕獲効率のデータから除外した。
- (注 4) 設置期間については、捕獲のあるデータの月の日数とした。

(3) 国有林における捕獲効率 (22 年度、23 年度)

国有林では、屋久島森林管理署、屋久島森林環境保全センターによる捕獲が実施されている。国有林における捕獲は、くくり罠を用いた罠猟であり、その捕獲効率は、捕獲頭数をのべ罠数で割って算出した。

屋久島森林管理署、屋久島森林環境保全センターから提出された資料を基に、管理計画メッシュ別の捕獲頭数及び捕獲効率の整理を行い、平成 22～23 年度の捕獲効率を表-4-1 に示す。また、捕獲効率の算定の基礎となった平成 22 年度の捕獲実績等を河川界区分別に整理し表-4-2～3 に、平成 23 年度の捕獲実績等を表-4-3～4 に示す。

表より、平成 22 年度の捕獲頭数は、宮浦林道で 185 頭、神之川林道で 123 頭、大川林道で 106 頭と多く、小楊枝林道で 3 頭、船行林道で 6 頭、小瀬田林道で 8 頭と少なかった。捕獲個体の半数以上は、北部の宮之浦・神之川林道と、中央部・遺産地域（西部より）の大川林道の 3 つの林道で捕獲されたものであり、全体の 6 割を占め、現在は特定の地域で捕獲が行われている。

また、平成 23 年度の捕獲頭数は、宮之浦林道の捕獲頭数が 144 頭と多く、大川林道 78 頭、神之川林道 43 頭で、3 つの林道で全体の 84%を占めており、その他の林道での捕獲個体は少なくなっている。

捕獲効率においては、平成 22 年度の捕獲効率は、神之川林道が 0.0448 と最も高く、続いて宮之浦林道 (0.0379)、白谷林道 217 支線 (0.0236) の順となっており、船行林道 (0.0033)、小楊枝林道 (0.0046)、小瀬田林道 (0.0068) で低い結果となった。

平成 23 年度においては、白谷林道が 0.0323 と最も高く、続いて宮之浦林道 (0.0282)、神之川林道 (0.0234)、船行林道 (0.0229) の順となっている。大川林道の捕獲効率は 0.0191 で、捕獲頭数の多い大川林道が必ずしも捕獲効率が高いわけではなかった。

これは、捕獲場所や時期、期間が地区によってまちまちであり、また捕獲者の熟練度に差があることなどが原因と思われる。

国有林における捕獲効率は、平成 22 年度が 0.0243、平成 23 年度が 0.0225 と捕獲効率は僅かに減少しているが、ほとんど差がない状況となっており、高い捕獲効率が維持されている（後述 5 参照）。

また、国有林全体の捕獲効率を月別に見ると、平成 22 年 11 月 (0.0495) が最も捕獲効率が高く、続いて平成 23 年 6 月 (0.0400)、平成 22 年 7 月 (0.0343) が高い。一方、平成 23 年 5 月 (0.0090) と平成 23 年 10 月 (0.0090) の捕獲効率が最も低く、続いて平成 23 年 3 月 (0.0098) の捕獲効率が低い結果となっていて、これ以外は捕獲効率における季節的な差異はあまり認められず、今後の推移を見守る必要性がある。

特に、国有林においては、捕獲そのものを事業として重点的に実施しているものではなく、森林施業を実施している地域への朝夕の限られた移動時間を活用して実施している。そのような限られた条件下における捕獲となっている。

また、上屋久猟友会にて実施されている罠猟の捕獲効率より数値が小さいが、これは前にも述べたように、民有地では個人所有の正確な罠数が計上されていないので、捕獲効率を計算する際ののべ罠数が過小となり、結果的に民有地での捕獲効率（罠猟）が過大となっている可能性がある。

表-4-1 平成 22～23 年度の屋久島森林管理署・森林環境保全センターにおける罾猟の捕獲効率

年度	河川界 区分	林道	罾猟期間	罾数 (個)	捕獲 頭数	のべ罾数 (個日)	捕獲効 率	管理計画 メッシュ		
平成 22 年度	1	小瀬田林道	平成 23 年 1 月～平成 23 年 3 月	13	8	1, 170	0. 0068	438	北東 部	
		船行林道	平成 22 年 9 月～平成 23 年 3 月	12	6	1, 812	0. 0033			
		205 林班	平成 22 年 12 月～平成 23 年 3 月	捕獲 柵	8	—	—	433		
	2	中瀬川林道	平成 22 年 9 月～12 月	13	26	1, 586	0. 0164	447	南東 部	
	5	湯泊林道	平成 22 年 6 月	21	10	630	0. 0159	445	中央 部	
	6	小楊子林道	平成 23 年 3 月	21	3	651	0. 0046	444	西部	
	7	大川林道	平成 22 年 6 月～平成 23 年 2 月	21	106	5, 733	0. 0185	439		
	9	宮之浦林道	平成 22 年 9 月～平成 23 年 3 月	23	185	4, 876	0. 0379	431	中央 部	
	10	神之川林道	平成 22 年 6 月～11 月	15	123	2, 745	0. 0448			
		白谷林道	平成 22 年 6 月～8 月	12	26	1, 104	0. 0236			
	計				151	493	20, 307	0. 0243	—	
平成 23 年度	1	船行林道	平成 23 年 6 月、10 月～平成 24 年 1 月	4	14	612	0. 0229	438	北東 部	
		鍋山林道	平成 23 年 6 月～7 月、平成 24 年 1 月	7	17	1, 288	0. 0132	443	南東 部	
	2	中瀬川林道	平成 23 年 8 月～10 月	7	5	434	0. 0115	447		
		安 房 林 道 63 支線	平成 23 年 7 月	4	1	124	0. 0081			
	7	大川林道	平成 23 年 7 月～平成 24 年 1 月	19	78	4, 085	0. 0191	439	西部	
	9	宮之浦林道	平成 23 年 5 月～平成 24 年 1 月	20	144	5, 104	0. 0282	431	中央 部	
	10	神之川林道	平成 23 年 5 月～7 月	20	43	1, 840	0. 0234			
		白谷林道	平成 23 年 4 月	4	4	124	0. 0323			
	計				92	315	14, 024	0. 0225	—	

(注 1) 国有林内では、罾猟しか実施されていない。なお、のべ罾数は捕獲日数に罾数を掛けた値。捕獲効率は、捕獲頭数をのべ罾数で割った値である。

(注 2) 国有林内では、平成 22 年度に計 501 頭のヤクシカを捕獲しているが、205 林班の捕獲柵による捕獲頭数を差し引いた 493 頭を用い捕獲効率を計算した。

(注 3) 参考までに平成 22 年度の大川林道における事例では、のべ罾数 5,733 個に対し掛かった人工数は 43 人日であり、のべ罾数 1 個につき 0.0075 人日の人工が必要とされた。

表-4-2 平成 22 年度の屋久島森林管理署・森林環境保全センターにおける罾猟の捕獲実績等

河川界 区分	設 置 場 所	雄雌別	親子別 (妊娠)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	雄・雌別 親・子別 小 計	捕獲頭数 3月末日 現在	捕獲方法	管理計画 メッシュ		
1	小瀬田林 道	雄	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・親	0	8	①餌掛け 呼び込み方 式	438	
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	雄・子	2				
		雌	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	雌・親				4
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	雌・子				2
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	妊娠	2				
		計		0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	計	8				
	船行林道	雄	親	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	雄・親	5	6	①餌ばら まき獣道 方式 ②餌掛け 呼び込み方 式	438	
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・子	0				
		雌	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・親	0				
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	雌・子	1				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	0				
		計		0	0	0	0	4	0	0	1	1	0	0	計	6				
	205シカ 対策プロ ジェクト	雄	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・親	0	8	①囲い柵 追い込み 方式 ②周辺餌 掛け呼び 込み方式	432	
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・子	0				
		雌	親	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	雌・親	5				
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	雌・子	3				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	妊娠	2				
		計		0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5	計				8
2	中瀬川林 道	雄	親	0	0	0	0	1	2	4	3	0	0	0	雄・親	10	26	①餌掛け 呼び込み方 式 ②餌ばら まき獣道 方式	447	
			子	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	雄・子	3				
		雌	親	0	0	0	0	3	3	1	0	0	0	0	0	雌・親				7
			子	0	0	0	0	1	3	2	0	0	0	0	雌・子	6				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	0				
		計		0	0	0	0	5	10	8	3	0	0	0	計	26				
5	湯泊林道	雄	親	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・親	5	10	①餌ばら まき獣道 方式 ②餌掛け 呼び込み方 式	445	
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・子	0				
		雌	親	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・親	5				
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・子	0				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	0				
		計		0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	計	10				
6	小揚子林 道	雄	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	雄・親	1	3	①餌ばら まき獣道 方式 ②餌掛け 呼び込み方 式	444	
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・子	0				
		雌	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	雌・親				2
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・子	0				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	妊娠	1				
		計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	計				3
7	大川林道	雄	親	0	5	3	0	13	0	5	0	0	2	0	雄・親	28	106	①餌ばら まき獣道 方式 ②餌掛け 呼び込み方 式	439	
			子	0	0	2	0	0	5	0	0	0	0	0	雄・子	7				
		雌	親	0	5	1	0	6	12	20	5	1	4	0	雌・親	54				
			子	0	0	0	2	0	0	2	13	0	0	0	雌・子	17				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	0				
		計		0	10	6	2	19	17	27	18	1	6	0	計	106				
9	宮之浦林 道	雄	親	0	0	0	0	4	5	31	18	11	18	3	雄・親	90	185	①餌掛け 呼び込み方 式	431	
			子	0	0	0	0	0	1	8	2	3	1	1	雄・子	16				
		雌	親	0	0	0	0	3	4	18	13	7	10	4	雌・親	59				
			子	0	0	0	0	3	3	5	4	1	3	1	雌・子	20				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	2	妊娠	9				
		計		0	0	0	0	10	13	62	37	22	32	9	計	185				
10	神之川林 道	雄	親	0	7	14	8	12	12	4	0	0	0	0	雄・親	57	123	①餌掛け 呼び込み方 式	431	
			子	0	2	3	2	1	1	2	0	0	0	0	雄・子	11				
		雌	親	0	6	14	7	5	6	3	0	0	0	0	雌・親	41				
			子	0	2	5	5	0	1	1	0	0	0	0	雌・子	14				
		うち妊娠		0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	妊娠	3					
		計		0	17	36	22	18	20	10	0	0	0	計	123					
	白谷林道 217	雄	親	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	雄・親	2	26	①餌ばら まき獣道 方式 ②餌掛け 呼び込み方 式	431	
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・子	0				
		雌	親	0	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	雌・親	18				
			子	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	雌・子	6				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	0				
		計		0	8	9	9	0	0	0	0	0	0	0	計	26				
合計		雄	親	0	17	18	9	34	19	44	21	12	20	4	雄・親	198	501	※①、② 別は捕獲 方法の優 先順	—	
			子	0	2	5	2	1	9	11	2	3	2	2	雄・子	39				
		雌	親	0	22	21	13	17	25	42	20	10	14	11	雌・親	195				
			子	0	4	7	9	4	7	10	19	1	4	4	雌・子	69				
		うち妊娠		0	1	0	0	0	2	0	0	3	5	6	妊娠	17				
		計		0	45	51	33	56	60	107	62	26	40	21	計	501				

表-4-3 平成 22 年度の屋久島森林管理署・森林環境保全センターにおける罾猟の月毎の捕獲効率

河川界 区分	設置 場所	罾数	項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	管理計画 メッシュ	
1	小瀬田 林道	13	捕獲頭数									2	2	4	8	438	北 東 部
			のべ罾数									403	364	403	1,170		
			捕獲効率									0.0050	0.0055	0.0099	0.0068		
	船行林 道	12	捕獲頭数					4			1	1			6	438	
			のべ罾数					360			372	372	336	372	1,812		
			捕獲効率					0.0111			0.0027	0.0027			0.0033		
	205シ カ対策ブ ロジェク ト	捕獲柵	捕獲頭数								3			5	8	432	
			のべ罾数							—			—	—	—		
			捕獲効率							—			—	—	—		
2	中瀬川 林道	13	捕獲頭数					5	10	8	3				26	447	南 東 部
			のべ罾数					390	403	390	403				1,586		
			捕獲効率					0.0128	0.0248	0.0205	0.0074				0.0164		
5	湯泊林 道	21	捕獲頭数		10										10	445	中 央 部
			のべ罾数		630										630		
			捕獲効率		0.0159										0.0159		
6	小揚子 林道	21	捕獲頭数											3	3	444	西 部
			のべ罾数											651	651		
			捕獲効率											0.0046	0.0046		
7	大川林 道	21	捕獲頭数		10	6	2	19	17	27	18	1	6		106	439	
			のべ罾数		630	651	651	630	651	630	651	651	588		5,733		
			捕獲効率		0.0159	0.0092	0.0031	0.0302	0.0261	0.0429	0.0276	0.0015	0.0102		0.0185		
9	宮之浦 林道	23	捕獲頭数					10	13	62	37	22	32	9	185	431	
			のべ罾数					690	713	690	713	713	644	713	4,876		
			捕獲効率					0.0145	0.0182	0.0899	0.0519	0.0309	0.0497	0.0126	0.0379		
10	神之川 林道	15	捕獲頭数		17	36	22	18	20	10					123	431	中 央 部
			のべ罾数		450	465	465	450	465	450					2,745		
			捕獲効率		0.0378	0.0774	0.0473	0.0400	0.0430	0.0222					0.0448		
	白谷林 道217	12	捕獲頭数		8	9	9								26	431	
			のべ罾数		360	372	372								1,104		
			捕獲効率		0.0222	0.0242	0.0242								0.0236		
合計		151	捕獲頭数	—	45	51	33	56	60	107	62	26	40	21	501	—	
			のべ罾数	—	2,070	1,488	1,488	2,520	2,232	2,160	2,139	2,139	1,932	2,139	20,307		
			捕獲効率	—	0.0217	0.0343	0.0222	0.0222	0.0269	0.0495	0.0290	0.0122	0.0207	0.0098	0.0247		

(注 1) 罾数は、該当林道にて使用した罾数である。また、捕獲期間を灰色で示した。

(注 2) 月毎の捕獲日数は、前提的に月初めから月終わりまでとした。

(注 3) のべ罾数は、罾数に捕獲日数を掛け、捕獲効率は捕獲頭数をのべ罾数で割った値である。

表-4-4 平成23年度の屋久島森林管理署・森林環境保全センターにおける罾猟の捕獲実績等

河川界 区分	設 置 場 所	雄雌別	親子別 (妊娠)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	雄・雌別 親・子別 小 計	捕獲頭数 3月末日 現在	捕獲方法	管理計画 メッシュ		
1	小瀬田林道	雄	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	雄・親	3	9	①餌掛け 呼び込み方 式	438	
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	雄・子	1				
		雌	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	雌・親				3
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	雌・子	2				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	妊娠	1				
		計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	計	9				
	船行林道	雄	親	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・親	1	14	①餌ばら まき獣道 方式 ②餌掛け 呼び込み方 式	438
			子	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	雄・子	4			
		雌	親	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	雌・親	3			
			子	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	雌・子	6			
		うち妊娠		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	1			
		計		0	4	0	0	0	4	3	1	2	0	0	計	14				
	鍋山林道	雄	親	0	0	2	0	0	0	0	1	4	1	0	0	雄・親	8	17	①餌掛け 呼び込み方 式 ②餌ばら まき獣道 方式	443
			子	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	雄・子	3			
		雌	親	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	雌・親	3			
			子	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	雌・子	3			
		うち妊娠		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	1			
		計		0	1	5	0	0	1	2	6	2	0	0	計	17				
2	中瀬川林道	雄	親	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	雄・親	2	5	①餌掛け 呼び込み方 式 ②餌ばら まき獣道 方式	447	
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・子	0				
		雌	親	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・親				1
			子	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	雌・子	2				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	0				
		計		0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	計	5				
	安房林道 63支線	雄	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・親	0	1	①餌掛け 呼び込み方 式 ②餌ばら まき獣道 方式	447	
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・子				0
		雌	親	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・親				1
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・子				0
		うち妊娠		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠				1
		計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	計	1				
7	大川林道	雄	親	0	0	3	4	1	2	1	4	2	0	0	雄・親	17	78	①餌ばら まき獣道 方式 ②餌掛け 呼び込み方 式	439	
			子	0	0	2	2	2	0	2	2	0	0	0	雄・子	10				
		雌	親	0	0	5	10	2	3	2	8	2	0	0	0	雌・親				32
			子	0	0	3	4	2	3	2	3	2	0	0	0	雌・子				19
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠				0
		計		0	0	13	20	7	8	7	17	6	0	0	計	78				
9	宮之浦林道	雄	親	0	2	0	7	5	2	5	4	14	11	3	雄・親	53	144	①餌掛け 呼び込み方 式	431	
			子	2	1	0	5	4	4	2	1	3	3	2	雄・子	27				
		雌	親	0	2	0	4	6	2	4	4	10	7	0	雌・親	39				
			子	0	1	0	1	4	6	2	1	2	4	4	雌・子	25				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	妊娠	1				
		計		2	6	0	17	19	14	13	10	29	25	9	計	144				
10	神之川林道	雄	親	2	14	5	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・親	21	43	①餌掛け 呼び込み方 式	431	
			子	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・子	2				
		雌	親	0	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・親				18
			子	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・子	2				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	0				
		計		2	31	10	0	0	0	0	0	0	0	0	計	43				
	白谷林道 217	雄	親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・親	0	4	①餌ばら まき獣道 方式 ②餌掛け 呼び込み方 式	431	
			子	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雄・子	2				
		雌	親	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・親				2
			子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雌・子	0				
		うち妊娠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	妊娠	0				
		計		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	計	4				
合計		雄	親	2	17	10	13	6	4	7	12	17	11	6	雄・親	105	315	※①、② 別は捕獲 方法の優 先順	—	
			子	4	2	5	7	6	6	6	3	4	4	2	雄・子	49				
		雌	親	2	21	9	15	8	5	6	13	13	9	1	雌・親	102				
			子	0	2	5	6	6	13	6	6	5	5	5	雌・子	59				
		うち妊娠		0	2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	妊娠	5				
		計		8	42	29	41	26	28	25	34	39	29	14	計	315				

表-4-5 平成 23 年度の屋久島森林管理署・森林環境保全センターにおける罾猟の月毎の捕獲効率

河川界 区分	設 場 置 所	罾数	項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	管理計画 メッシュ		
1	小瀬田 林道	7	捕獲頭数										4	5	9	438	北 東 部	
			のべ罾数									196	217	413				
			捕獲効率									0.0204	0.0230	0.0218				
	船行林 道	4	捕獲頭数		4				4	3	1	2			14	438		
			のべ罾数		120				124	120	124	124			612			
			捕獲効率		0.0330				0.0323	0.0250	0.0081	0.0161			0.0229			
	鍋山林 道	7	捕獲頭数		1	5			1	2	6	2			17	443		
			のべ罾数		210	217			217	210	217	217			1,288			
			捕獲効率		0.0050	0.0230			0.0046	0.0095	0.0276	0.0092			0.0132			
2	中瀬川 林道	7	捕獲頭数				4		1						5	447	南 東 部	
			のべ罾数				217		217						434			
			捕獲効率				0.0184		0.0046						0.0115			
	安房林 道 63 支線	4	捕獲頭数			1								1	447			
			のべ罾数			124										124		
			捕獲効率			0.0081										0.0081		
7	大川林 道	19	捕獲頭数			13	20	7	8	7	17	6			78	439	西 部	
			のべ罾数			589	589	570	589	570	589	589			4,085			
			捕獲効率			0.0221	0.0340	0.0123	0.0136	0.0123	0.0289	0.0102			0.0191			
9	宮之浦 林道	4(5～6 月)、20 (8～3 月)	捕獲頭数	2	6		17	19	14	13	10	29	25	9	144	431	中 央 部	
			のべ罾数	124	120		620	600	620	600	620	620	560	620	5,104			
			捕獲効率	0.0161	0.0500		0.0274	0.0317	0.0226	0.0217	0.0161	0.0468	0.0446	0.0145	0.0282			
10	神之川 林 道	20	捕獲頭数	2	31	10									43	431		
			のべ罾数	620	600	620									1,840			
			捕獲効率	0.0030	0.0520	0.0160									0.0234			
	白谷林 道 21 7	4	捕獲頭数	4											4	431		
			のべ罾数	124											124			
			捕獲効率	0.0320											0.0323			
合計		92	捕獲頭数	8	42	29	41	26	28	25	34	39	29	14	315	－		
			のべ罾数	868	1,050	1,550	1,426	1,170	1,767	1500	1550	1550	756	837	14,024			
			捕獲効率	0.0090	0.0400	0.0187	0.0288	0.0222	0.0090	0.0167	0.0219	0.0252	0.0384	0.0167	0.0225			

(注 1) 罾数は、該当林道にて使用した罾数である。また、捕獲期間を灰色で示した。

(注 2) 月毎の捕獲日数は、前提的に月初めから月終わりまでとした。

(注 3) のべ罾数は、罾数に捕獲日数を掛け、捕獲効率は捕獲頭数をのべ罾数で割った値である。

なお、上屋久・屋久猟友会及び森林管理署等で捕獲された屋久島における平成 22・23 年度の有害鳥獣駆除による地区別の捕獲数及び捕獲効率を図-4-1~4 に示す。

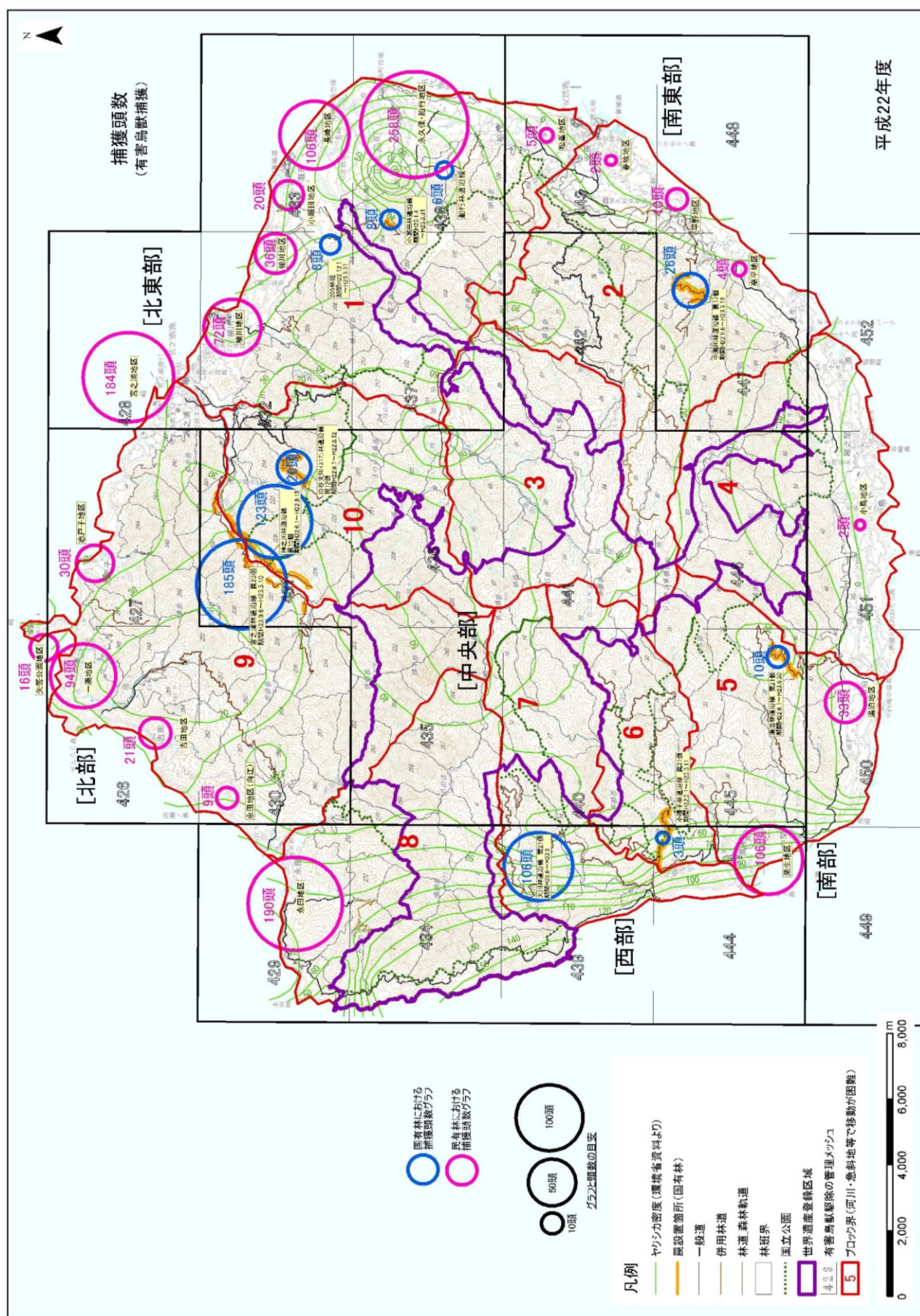


図-2-1 平成22年度のヤクシカ捕獲頭数

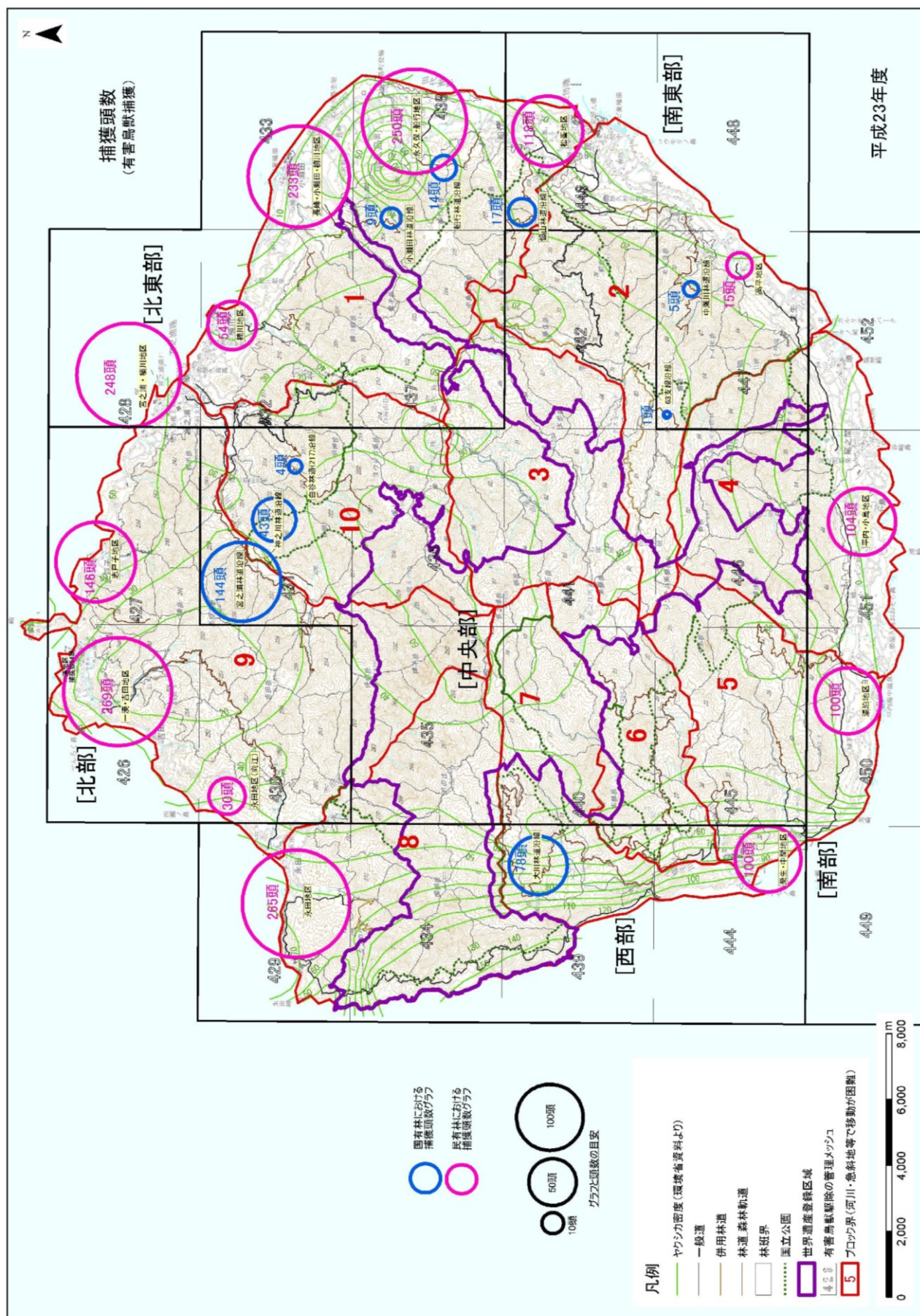
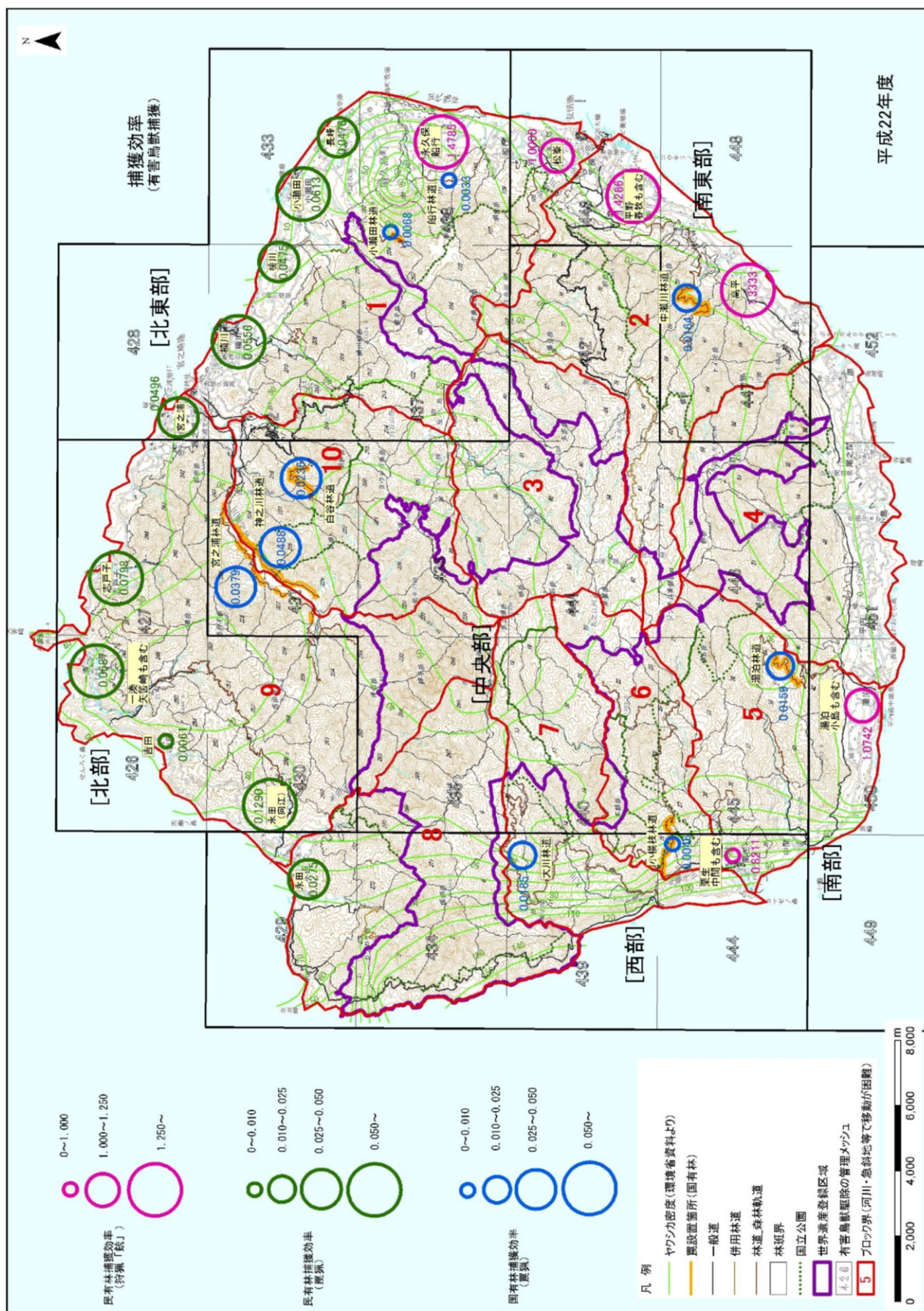


図-2-2 平成23年度のヤクシカ捕獲頭数



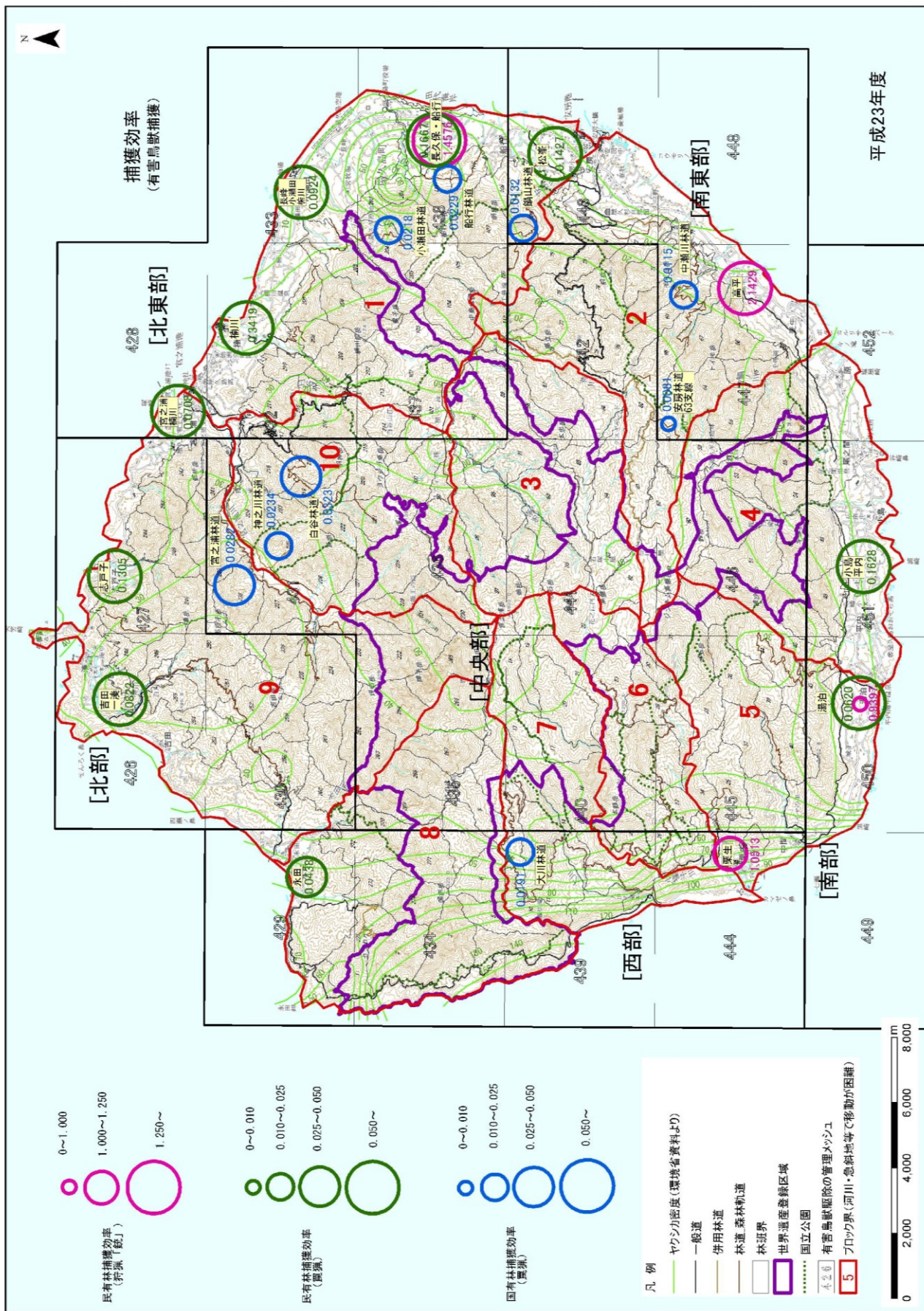


図-2-4 平成23年度のヤクシカ捕獲効率